



あなたの身近にFeグループ

富士電機グループフェア 東北

会期：2007年6月20日(水) 10:00～18:00
21日(木) 10:00～16:00

セミナー同時開催

会場：サンフェスタ(仙台卸商センター 産業見本市会館)

FE 富士電機グループ

ごあいさつ

拝啓 時下の候 益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて来る6月20日(水)・21日(木)の2日間、サンフェスタ(仙台卸商センター産業見本市会館)に於きまして「富士電機グループフェア 東北」を開催致します。

「あなたの身近にFeグループ」をテーマにソリューションとサービスでお応えする富士電機グループの技術・開発・製品を数多く展示・ご紹介致します。

お客さまのシステム創りと課題解決に必ずやお役に立てるものと確信致しております。

ご多忙中の事とは存じますが、是非とも皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

敬 具

東北地区 富士電機グループ展示会実行委員会
委員長 尾木 靖彦

(富士電機ホールディングス(株)東北地域代表)

会場のご案内



交通アクセス

- 仙台駅から車で15分
- 仙台駅バスターミナル(4番)から市営バスが運行
 - ・ 志波町、卸売市場経由東部工場団地行
 - ・ 志波町、卸売市場経由霞の目営業所行
 「卸町会館前」下車
- 国道4号線仙台バイパス(泉IC)から車で15分
- 仙台東部道路 仙台東ICから車で7分

主な展示品

環境・省エネゾーン

エネルギーマネジメント 空調エンジニアリング
クリーンエネルギー
クリーンルーム
環境配慮型自販機
モータ応用機器
環境経営支援システム
ECO包装設計

コンポーネントゾーン

情報制御システム ストレージデバイス
計測機器 画像デバイス
受配電機器
制御機器
駆動制御機器
省配線機器
半導体デバイス

防災・セキュリティゾーン

地震災害予知システム
災害救援自販機
無停電電源装置
アプリケーション配信システム
免震プラットフォームISO-BASE

出展会社及び協賛会社(順不同)

富士電機ホールディングス株式会社・富士電機システムズ株式会社・富士電機リテイルシステムズ株式会社・富士電機機器制御株式会社
富士電機デバイステクノロジー株式会社・富士電機水環境システムズ株式会社・富士電機E&C株式会社・富士電機総設株式会社
富士電機ITソリューション株式会社・富士電機モータ株式会社・富士電機テクニカ株式会社・富士物流株式会社・富士アイティ株式会社
東北富士電機株式会社・山形富士電機株式会社・植田電機株式会社・宝永電機株式会社・株式会社富士電業社・富士ライフ株式会社

技術セミナー(4階401会場)

6/20

水

11:00～11:50

富士電機テクニカ株式会社
企画部

主任技師 石川 雅英

「機械制御盤の安全対策」

～制御盤のSafety提案～

機械安全の基本規格(ISO1200)の制定以来、制御盤を取り巻く安全関係のISO、IEC、JISの整備が進んでいます。日本の機械輸出比率が高まるなか、制御盤の安全対応・機種選定に対する具体的な対応が求められています。本セミナーでは、安全規格の動向と規格に対応する機器に関して解説いたします。

14:00～15:00

富士通株式会社
サービスビジネス本部
サービスコンダクターセンター

部長 大重 知之氏

「富士通が考える官・民の安全・安心」

～危機管理と安全対策の実情～

近年、企業経営や自治体の住民サービスにおいて、「セキュリティ」マネジメントの強化、情報システムの被害を抑える「事業継続」を図ることが求められています。お客様の統合リスクマネジメントを実現する安心安全ソリューションについて富士通(株)の取組み、事例などをご紹介します。

6/21

木

11:00～11:50

富士電機システムズ株式会社
エネルギーソリューション統括部

担当課長 大野 健

「2007年問題と運用ノウハウ継承の危機」

～ノウハウ共有ツールの課題～

2007年問題に代表されるノウハウの消失問題に対し様々なノウハウ共有ツールが存在しますが、ノウハウの蓄積や共有が進んでいる企業は多くありません。新しいツールの開発を通して見えてきた現状の課題を分かりやすく解説し、その解決案をご提案いたします。

13:30～15:00

東北大学大学院工学研究科

教授 堀切川 一男氏

「産・学・官・銀・報・民の連携による新しい地域産業の創出を目指して」

～仙台市地域連携フェロー活動の体験を通して～

低摩擦ボブスレーランナーの開発、米ぬかを原料とする硬質多孔性炭素材料"RBセラミックス"の開発など多方面の研究、また積極的な「御用聞き型企業訪問」を通して産業と大学研究を結ぶ活動的な取り組みをしている名物教授の講演を通して地域産業発展のあり方をご提案いたします。